

# シラチャ校だより

泰日協会学校シラチャ校  
2026. 3. 6 (2005年度最終号)



## 進化するシラチャ日本人学校の教育の創造に向けて

シラチャ日本人学校 校長 藤枝茂雄

早いもので、今年度もいよいよ最終月を迎えた。創意工夫と優れた熱意をもって子供たちの指導に当たってきた8名の先生が、惜しまれながらシラチャ校を離任する。シラチャでのそれぞれの教育実践や子供たちとのかかわりは、先生方の今後の大きな財産となるに違いない。本校の学校運営に携わる立場としては、本当にいくら感謝しても感謝しすぎることはないくらい、どの先生にもしっかりとした働きをしていただいたと思っている。

また、一方では、新しく7名の先生が赴任する予定である。その先生方も、シラチャ日本人学校のミッションを受け継ぎながら、それぞれの先生が持ち味を発揮して、子供たちのために全力で活躍していただけるものと期待している。

校長である私も、今年度末で3年間のシラチャ日本人学校での勤務が経過することになるが、あと一年、この現場に留まって、泰日協会学校理事会の教育方針を具現化するためにご奉公させていただくことになっている。

そのため、日本人学校としては、規模の面や設備の面、さらには、十分な教員体制や安全管理などの面において、非常に恵まれた環境におかれている本校の教育をさらに進化させるためには何ができるだろうかと、考えを巡らせる毎日である。

その中で、取り組むことを決めてすでに準備に取り掛かっていることの一つは、若手教員を対象にした「クリエイティブ研修」である。国内の学校における従来型の若手教員研修は、教科教育のスキルや、授業中の発話や子供たちとの応答のスキル、指導案作成とそれに基づく授業の進め方というような範疇はんちゆうのものが多かった。

しかし、シラチャ日本人学校が、国内の公立学校と大きく違うことは、世界の日本人学校をリードする先進性と提案性をもった教育実践を行うことをミッションとして位置付けていることである。しかも、その実践は、学校経営目標と密接にリンクしたものであり、なおかつ、「教員の働き方」に関する国内の課題さえも同時に解決する方策を含めようというものである。

それらを踏まえたうえで、学校経営計画の効果的な実現に資するための次年度に向けた研修に関する課題意識は以下の5点に集約される。

- ① 若手教員が、専門教科以外の他の教科領域と連携した学びをより上げるための教科横断的・教科総合的な力、及び創造力を獲得する場を創設すること。
- ② 泰日協会学校理事会から予算的な支援を受けて、東京学芸大学教職大学院に「IB入門」の科目等履修生として研修派遣された中核教員が、その成果を還元する場を創設すること。
- ③ 総合的な学習の時間をコアとした中学部最高学年からの逆向き設計のコンテンツとコンピテンシーの積み上げ教育(シラチャ・リポジトリ構想)による「最高到達点」としての成果物を中学部において明確に示すこと。
- ④ タイ王国に住まわせていただいている日本人(教員・児童生徒)として、タイ王室への尊敬の念をさらに醸成するために、シリキット王太后の生前の功績をテーマにした「表現としての学習成果物」を教員の指導の下で生徒たちが作成し、シラチャ祭で披露すること。
- ⑤ 本校で作成したシラチャやタイを理解するための資料集である「シラチャ・ペディア」(第1巻～第7巻)や、「わたしたちのまち タイ・シラチャ」(第4版)による知見や情報を一層有効に活用し、身近なタイをテーマにした教材開発と、それによるシラチャ校らしい特色ある教育を一層充実させること。

以上のようなポイントを集約して、教員による「クリエイティブ研修グループ」を編成する。それにより、シリキット王太后によるタイの織物の振興やロイヤル・プロジェクトをコアにした各教科の創造的な授業づくりとその統合、そして、それらを教材とした各教科での授業実践による子供たちの学力や国際性の育成、さらには保護者と一体感を有したシラチャ型教育コミュニティスクールの具体をシラチャ祭の場で実現することを意図している。

本校の二オンディレクターと伊藤事務局長(泰日協会学校理事会事務局)による内容確認や監修のもと、校長室で作成している「シラチャ・ペディア」は、累計600話となる「第6巻」(100話)を今年度最後の2月の学校理事会に提出した。このことに関しては、「特色ある教育の創造」の章の中で、本校の教員が実践した先進的・提案的な実践の割合を多くして、優れた取組の共有と継続・発展に資することを目指している。

直近の掲載では、異なる年齢や国籍(言語)の人たちが一緒に楽しめるニュースポ

ーツとしての「キンボール」や、シンガーソングライター<sup>タニシユウ</sup>の谷修さんから使用許可をいただいた歌曲に合わせた「シラチャ体操の開発」、シラチャ作品展の小学部1年生の図工における「4つの描画技法を取り入れたタイの物語『仙人(ルーシー)とネズミ』の場面をイメージした絵」などがある。

これらの優れた実践が、平均3年という短いシラチャ校での勤務期間の中で凝縮して実践され、それらが伝統として、さらにより良いものへと進化して受け継いでいくためのベースを作ることも、私たちの大切な役割だと考えている。

海外での教職経験をめざす日本国内の先生や大学生からも、現在の教員の実践が注目され、働きたい日本人学校としての魅力を増しているシラチャ校であるが、次年度も引き続き、世界の在外教育施設をリードするような優れた実践が生みされる「進化するシラチャ日本人学校」の教育を創造していきたいと考えている。

最後に、今年度の本校の学校評価アンケートの集計結果を掲載した。今年度も、非常に高い評価結果を得ることができた。次年度も、必要な改善を加えながら、教職員一同、子供たちの成長のために力を尽くしていきたいと考えている。

P. S.

一年間、本校の教育を支えていただいた、すべての関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

2026年度も、引き続きよろしくお願いいたします。



「シラチャ式キンボール」による小中合同授業の様子



本校オリジナルの「シラチャ体操のイラスト」

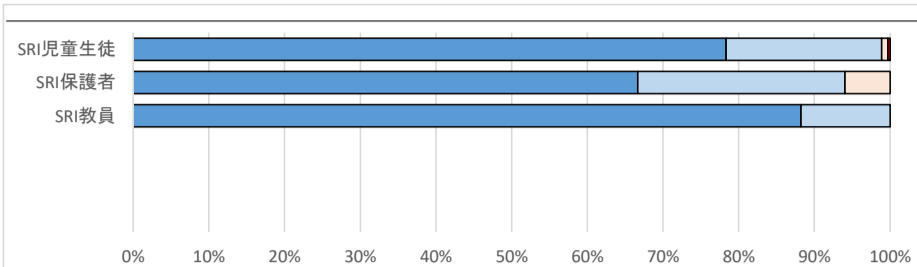


「仙人とネズミ」をテーマとした児童の作品(部分)・・・  
4つの部分(仙人、動物、背景、草)に、混色、にじみ絵、ステンシル、ソルトペインティングという、それぞれ異なるアート技法が使われている。

1 学校全般に関すること

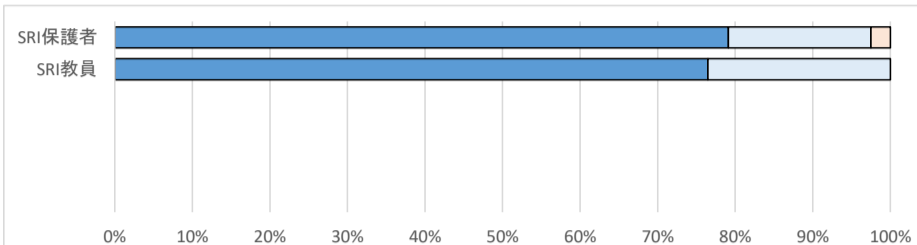
(01) 警備等危機管理に努めており、安心できる。

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	282	74	3	1	98.9%	1.2%	1.1%	-1.2%
SRI保護者	134	55	12	0	94.0%	-6.0%	6.0%	6.0%
SRI教員	30	4	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%



(02) 教職員の対応が丁寧である。

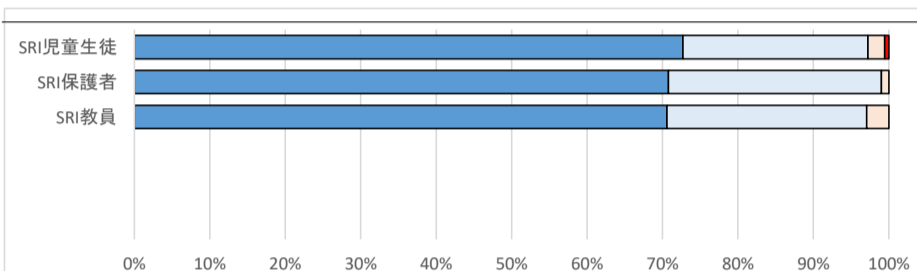
	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI保護者	159	37	5	0	97.5%	-2.5%	2.5%	2.5%
SRI教員	26	8	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%



2 学年・学級に関すること

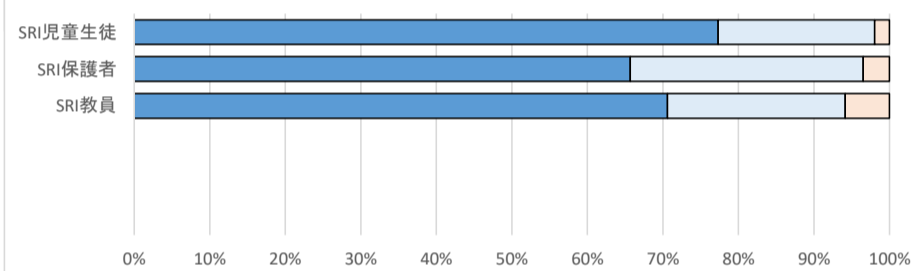
(03) 学級・学年の雰囲気がよく、子どもたちが生き生きとしている。

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	261	88	8	2	97.2%	0.7%	2.8%	-0.7%
SRI保護者	143	57	2	0	99.0%	0.9%	1.0%	-0.9%
SRI教員	24	9	1	0	97.1%	-2.9%	2.9%	2.9%



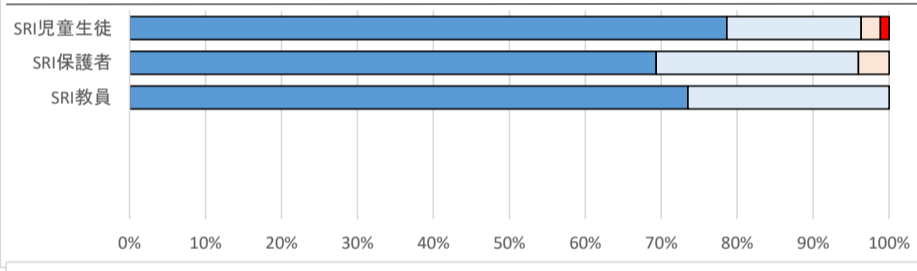
(04) 児童の悩みや相談に親身に対応している。

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	276	74	7	0	98.0%	0.1%	2.0%	-0.1%
SRI保護者	132	62	7	0	96.5%	-0.4%	3.5%	0.4%
SRI教員	24	8	2	0	94.1%	-5.9%	5.9%	5.9%



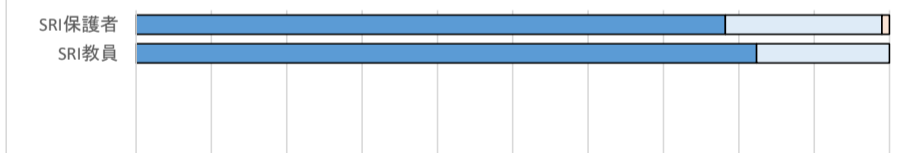
(05) いじめや差別・偏見のない学級・学年作りに努めている。

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	280	63	9	4	96.3%	2.7%	3.7%	-2.7%
SRI保護者	138	53	8	0	96.0%	-2.8%	4.0%	2.8%
SRI教員	25	9	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%



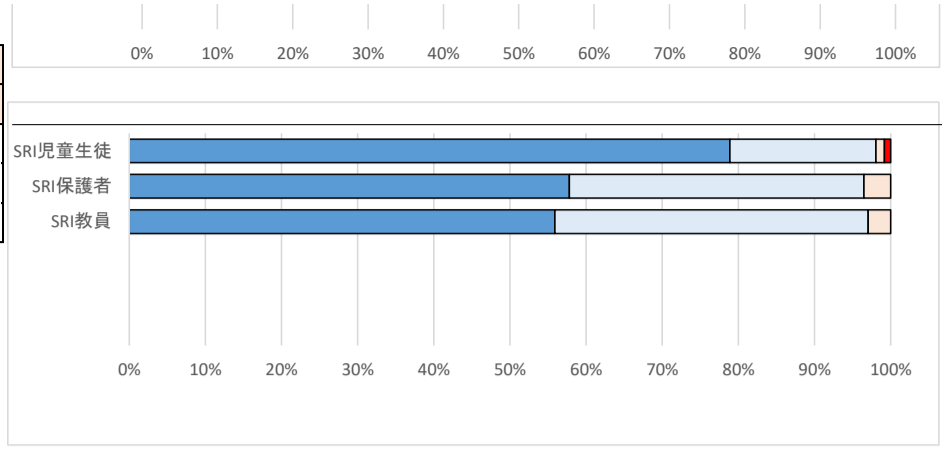
(06) 便りなどを通じて学校の様子が伝わるように努めている。

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI保護者	158	42	2	0	99.0%	0.3%	1.0%	-0.3%
SRI教員	28	6	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%



(07)  
個々に応じた分かる授業作りに努めている。

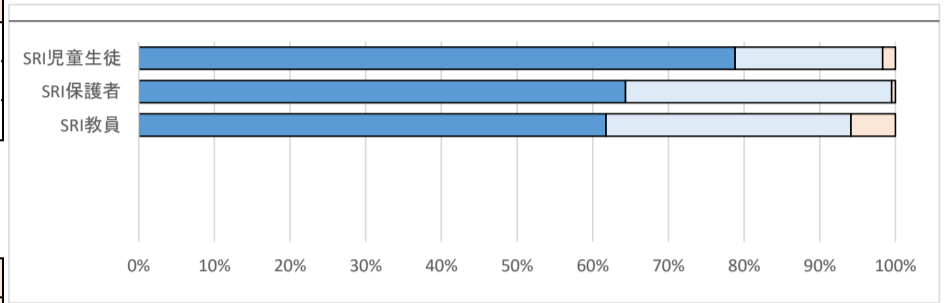
	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	284	69	4	3	98.1%	0.4%	1.9%	-0.1%
SRI保護者	115	77	7	0	96.5%	4.0%	3.5%	-1.3%
SRI教員	19	14	1	0	97.1%	-2.9%	2.9%	-7.8%



3 学習に関すること

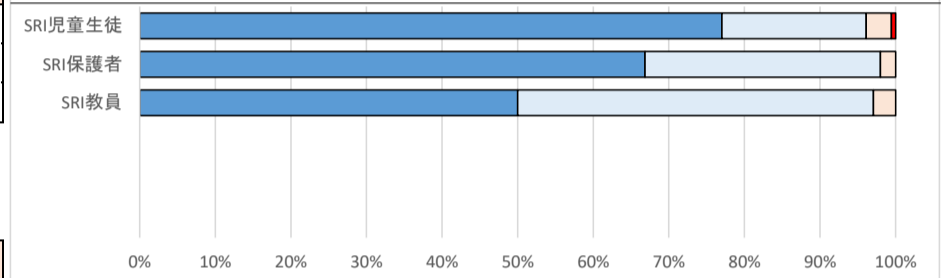
(08)  
学力向上に努めている。

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	283	70	6	0	98.3%	0.1%	1.7%	-0.1%
SRI保護者	128	70	1	0	99.5%	3.2%	0.5%	-3.2%
SRI教員	21	11	2	0	94.1%	-0.6%	5.9%	0.6%



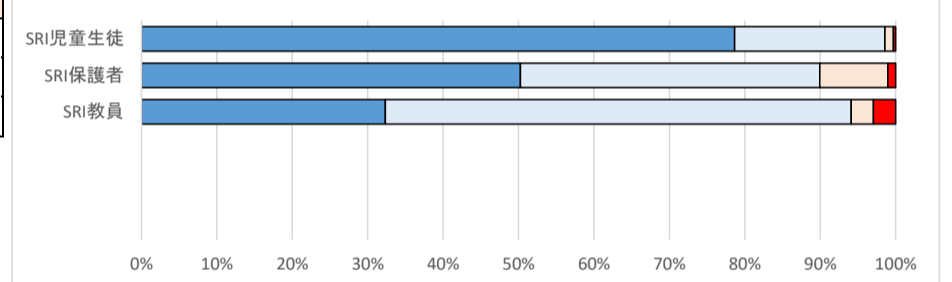
(09)  
感謝や思いやりの心など心の教育に努めている。

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	278	69	12	2	96.1%	-2.1%	3.9%	2.1%
SRI保護者	133	62	4	0	98.0%	-0.1%	2.0%	0.1%
SRI教員	17	16	1	0	97.1%	-2.9%	2.9%	2.9%



(10)  
体力向上に努めている。

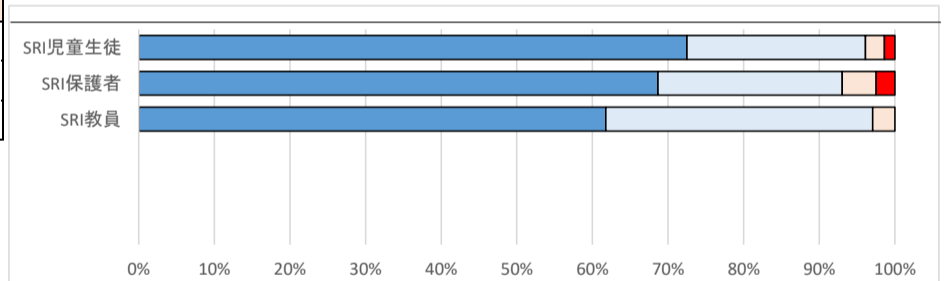
	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	280	71	4	1	98.6%	0.9%	1.4%	-0.9%
SRI保護者	100	79	18	2	89.9%	3.0%	10.1%	-3.0%
SRI教員	11	21	1	1	94.1%	25.7%	5.9%	-25.7%



4 児童生徒に関すること

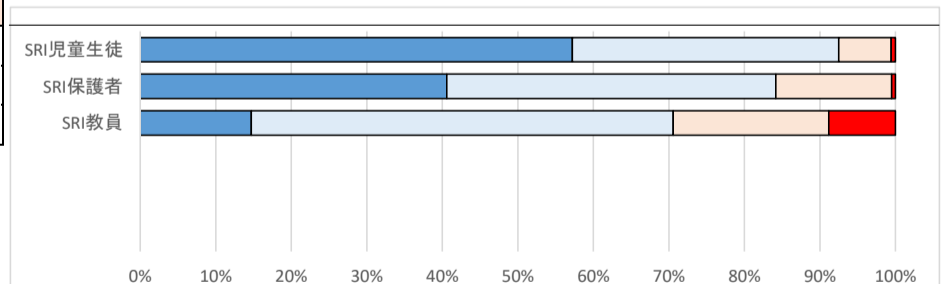
(11)  
学校に喜んで通っている

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	261	85	9	5	96.1%	2.3%	3.9%	-2.3%
SRI保護者	138	49	9	5	93.0%	0.4%	7.0%	-0.4%
SRI教員	21	12	1	0	97.1%	-2.9%	2.9%	2.9%



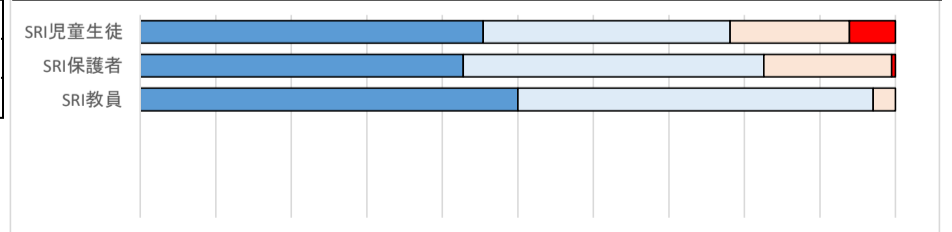
(12)  
家族以外の人とも、よくあいさつをする

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	206	127	25	2	92.5%	0.9%	7.5%	-0.9%
SRI保護者	82	88	31	1	84.2%	2.1%	15.8%	-2.1%
SRI教員	5	19	7	3	70.6%	-18.9%	29.4%	18.9%



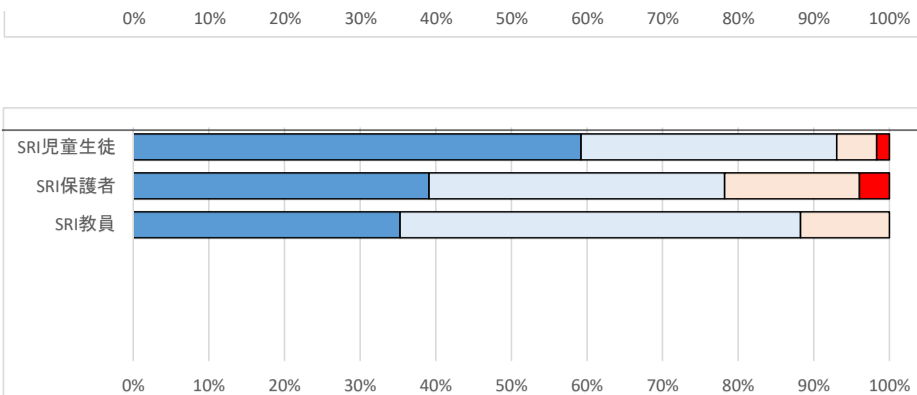
(13)  
学校や友だちのことを家でよく話す

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	164	118	57	22	78.1%	3.8%	21.9%	-3.8%
SRI保護者	86	80	34	1	82.6%	-1.9%	17.4%	1.9%
SRI教員	17	16	1	0	97.1%	-2.9%	2.9%	2.9%



(14)  
家庭学習によく取り組んでいる

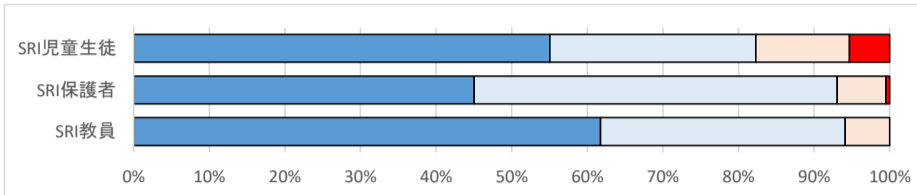
	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	212	121	19	6	93.0%	4.1%	7.0%	-4.1%
SRI保護者	79	79	36	8	78.2%	4.8%	21.8%	-4.8%
SRI教員	12	18	4	0	88.2%	-11.8%	11.8%	11.8%



5 学校に望む教育に関すること

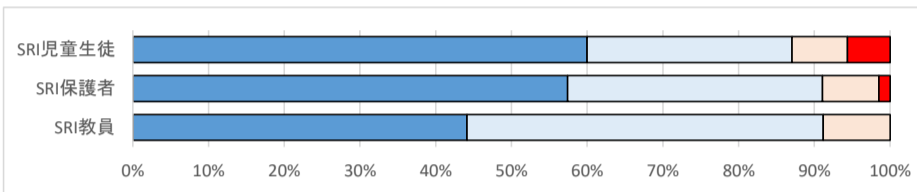
(15)  
タイ語やタイ文化の学習

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	196	97	44	19	82.3%	4.8%	17.7%	-4.8%
SRI保護者	91	97	13	1	93.1%	7.9%	6.9%	-7.9%
SRI教員	21	11	2	0	94.1%	-0.6%	5.9%	0.6%



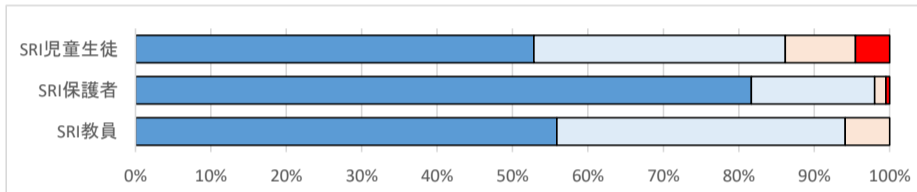
(16)  
コンピュータ等のICTを  
活用した学習

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	213	96	26	20	87.0%	-0.8%	13.0%	0.8%
SRI保護者	116	68	15	3	91.1%	-4.0%	8.9%	4.0%
SRI教員	15	16	3	0	91.2%	-3.6%	8.8%	3.6%



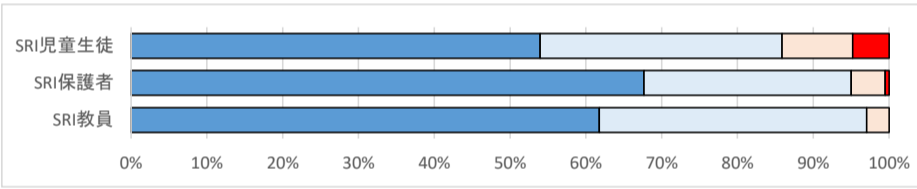
(17)  
ネイティブの英語教員に  
よる実践的な英語学習

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	187	118	33	16	86.2%	7.0%	13.8%	-7.0%
SRI保護者	165	33	3	1	98.0%	-0.1%	2.0%	0.1%
SRI教員	19	13	2	0	94.1%	4.6%	5.9%	-4.6%



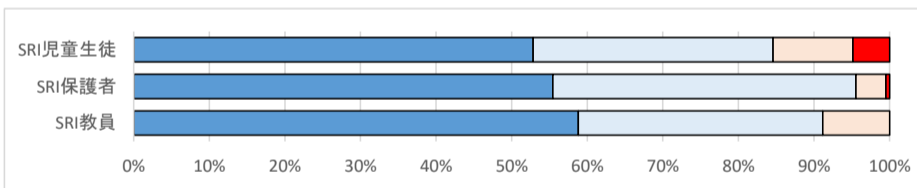
(18)  
ディベートやプレゼン  
テーション等のコミュニ  
ケーション学習

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	191	113	33	17	85.9%	3.1%	14.1%	-3.1%
SRI保護者	136	55	9	1	95.0%	-0.7%	5.0%	0.7%
SRI教員	21	12	1	0	97.1%	-2.9%	2.9%	2.9%



(19)  
多文化共生や環境問題  
等のグローバル視点に  
基づく学習

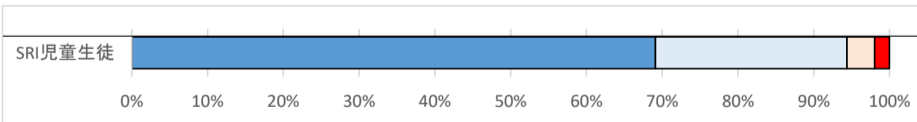
	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	185	111	37	17	84.6%	1.9%	15.4%	-1.9%
SRI保護者	112	81	8	1	95.5%	3.6%	4.5%	-3.6%
SRI教員	20	11	3	0	91.2%	-8.8%	8.8%	8.8%



6 学校行事について(児童生徒向け)

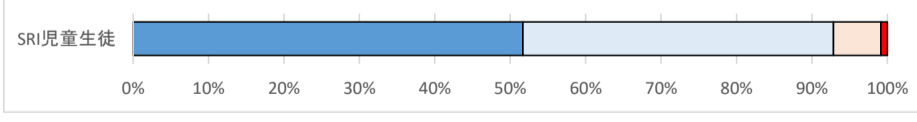
(20)  
【シラチャ校】  
交流会を通じて、仲間と  
協力して楽しむことが  
できた

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	246	90	13	7	94.4%	-0.4%	5.6%	0.4%



(21)  
【シラチャ校】  
総合的な学習におい  
て、主体的に取り組むこ  
とができた

	そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
					増減	増減		
SRI児童生徒	123	98	15	2	92.9%	-0.4%	7.1%	0.4%



## よく学び、よく遊び

8年主任 青野 弘和

1月14日～16日に、チェンマイ・ランパーン方面への修学旅行を実施しました。「タイの本音を知る旅 ― 発展と共生のこれからを考える ―」というテーマのもと、年度当初から総合的な学習の時間を中心に準備を進め、シラチャ祭での発表を経て事前学習を行ってきました。特に、モン族の刺繍の伝統技法である「リバーズアップリケ」に挑戦し、模様に入れられた意味や技法の難しさを実体験しました。現地で本物の刺繍を目にしたことで、その技能の高さを実感するとともに、模様の意味に思いを巡らせることができました。

事前学習の成果もあり、生徒たちは観光地の明るい側面だけを表面的に捉えるのではなく、タイの観光地が抱える課題やジレンマにも目を向け、物事を多面的・多角的に考える力を身に付けてきたと感じています。

学習面以外でも、クラスメートと笑顔で語らいながら食事を楽しんだこと、メモ・リグナイト博物館の横にあるなだらかな芝生を見つけた瞬間、全員が一斉に滑り始めたこと、そして、疲れて眠らうという予想に反して始まったバス内での大合唱など、つねに全力で楽しもうとする生徒たちのエネルギーを強く感じました。

8年生最大の行事が大きくなげがや病気もなく無事に終了し、安堵すると同時に、今回の経験を通して、生徒たちが今後も大きく成長していく姿が想像できました。今年度も残りわずかとなりましたが、最後まで生徒の学びに寄り添っていきたいです。

## 4年 校外学習～竹細工体験～

4年主任 小島 周平

2月3日～5日にかけてチョンブリー県パナットニコム郡の「プラニー工房」で竹細工の体験を行いました。プラニー工房はタイを代表する竹細工の工房であり、タイ王室からも支援を受けている伝統工芸品です。

子供たちは、社会科の学習で日本の伝統工芸品について調べ学習をして、伝統工芸品を受け継ぐ職人や地域の人々の思いなどに気付くことができました。それを受けて、タイの伝統工芸品についても調べることにしました。その学習の一環として今回の竹細工体験です。

子供たちは、職人の方が素早く竹を編んでいくのを見て、「速すぎて何をしているかわからない。」など、驚きの声を挙げていました。

実際に体験が始まると、見本を見て編んだり、職人の方に教えてもらったりしながら、なんとか完成をさせることができました。でき上がった作品を見ながら、笑顔になった子供たちでした。

体験の後には質疑の時間もあり、日本の竹との違いについて質問がありました。パナットニコム郡の竹細工で使われている竹は、節の間隔がとても広く120cm以上もあります。本物の竹を見せてもらい、子供たちはとても驚いた様子でした。

学校に帰ってきてからの振り返りでは、職人さんの高齢化や、伝統を受け継いでいくことの大変さについてプラニーさんからの話を聞いて、「日本の伝統工芸品と同じ課題がある」ということに気付いていました。

## シラチャに眠っていた「水の中の温泉」

ディレクター ニオン アガニット プロム

皆さんは、シラチャのバーンプラ貯水池の中に、昔から湧き続けている天然の温泉があることをご存じでしょうか。私はチョンブリーで生まれ育ったにもかかわらず、このことを知ったのはごく最近です。身近な町にも、まだまだ知らない歴史があるのだと気づかされました。

この温泉は、地中から自然に湧き上がる本物の熱い湯で、仏暦 2495 (1952) 年ごろにはすでに地域の人々に親しまれていたと言われていました。当時の人たちはこの温泉をとっても大切にし、体を温めるだけでなく、「自然の温かい水には病気を治す力がある」と信じて、家族で遊びに行くことも多かったそうです。

しかしその後、この地域は水資源を確保するためにバーンプラ貯水池の建設が進められ、温泉のある一帯もその中に組み込まれることになりました。

温泉を守るため、当時の人々は小さな灯台のような建物を温泉の上に建て、湧き口を壊さないように保護したと言われていました。けれども、その後の貯水池の拡張によって水位が上がり、ついに温泉は完全に水の底に沈んでしまいました。



長い間、温泉は「昔話の中の存在」になり、誰の目にも見えなくなってしまいました。

ところが 仏暦 2558 年 (2015 年) 7 月、深刻な干ばつが発生し、貯水池の水位が大きく下がったときのことで。なんと、沈んでいた温泉が再び姿を現したのです。

その事実を確かめるため、2558 年 7 月 19 日 15 時、シラチャ市のチャッチャイ・ティムカジャー市議会議長が船で温泉の湧き口まで向かい、実際に測定を行いました。結果は驚くべきものでした。

- ・水温： 約 38°C (今も温かい)
- ・湧出量： 約 3,000 リットル/1 時間

つまり、水の底に沈んでいたにもかかわらず、温泉は昔と同じように地中から湧き続けていたのです。この温泉は、東部タイではほとんど例のない貴重な自然資源です。そのため、地元では「安全に整備して観光地として活用できないか」という提案も出ています。もし実現すれば、チョンブリー県に新しい名所が誕生するかもしれません。

今回この温泉の歴史を調べる中で、私はあらためて「自分の住む地域には、まだ知られていない物語がたくさんある」と感じました。湖の静かな水面の下に、こんな「生きた歴史」が息づいていたと思うと、とても不思議でワクワクする気持ちになりました。



# 離任教職員のあいさつ

今年度末をもちまして、8名の教職員がシラチャ校を離任します。離任する教職員からのメッセージを掲載します。

## 播村 有香

シラチャ日本人学校で多くの出会いがあり、たくさん素敵な思い出ができました。皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

これからの皆さんの成長と活躍を心より楽しみにしています。これからも元気で過ごしてくださいね。

## 高山 夕希

子供たちの笑顔に毎日たくさんの元気をもらいました。いつも温かく支えてくださった保護者の皆様に心より感謝いたします。

シラチャ校での思い出は一生の宝物です。子供たちのこれからの成長をずっと楽しみにしています。4年間、本当にありがとうございました。

## 山尾 理恵

この3年間は、子供たちのおかげで楽しくあっという間で、かけがえのない時間でした。何事にも全力で頑張るシラチャ校のみんなから、たくさんのエネルギーをもらいました。また、保護者の皆様にもたくさん支えていただき、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。これからも皆さんのことを応援しています！！

## 小島 周平

この3年間で何度も頭に浮かんだ言葉は「縁」です。シラチャ校に来なければ絶対に会うことのなかった子供たち。ニュース等で県名を聞くと、子供たちの顔が思い浮かべられます。ここで得たものを大切に、日本に帰っても教壇に立ち続けたいと思います。子供たちの、そして保護者の皆様のこれからの素敵なものでありますように。

## 茂木 香枝

シラチャ日本人学校の皆様とのご縁に、心から感謝しています。子供たちの成長の瞬間に立ち会えたこと、保護者の皆様の温かいお言葉に支えていただいたことは、私にとって大きな学びと喜びでした。皆さんのこれからのさらなる成長を願っています。また世界のどこかで会いましょう！

## 青木 奈緒美

多くの人に支えられて、3年間で過ごすことができたこと、心より感謝しています。シラチャ校での日々は、私にとってこの上なく幸せなことで、微笑みの国タイは第二の故郷となりました。本当にありがとうございました。子供たちとお世話になった方々の幸せをお祈りしています。

## 望月 みあ

シラチャ日本人学校で出会うことができた皆様とのご縁に感謝の気持ちでいっぱいの2年間でした。皆さんと過ごした学校生活や学校行事では、子供たちの成長を間近で感じることができ、こんなにも幸せな職業はないと思うばかりです。シラチャ校で出会った子供たちのこれからの未来が、明るく幸せにあふれたものであるよう日本からも願っています！

**中野 遥奈**

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、温かく支えてくださった保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。子供たち一人一人が、それぞれの場所で自分らしく輝き、さらに大きく成長していくことを心から楽しみにしております。

2年間という短い間ではありましたが、本当にありがとうございました。

